

## 農地流動化の実態と問題点

東 一洋（長崎県総合農林試験場）

Kazuhiro HIGASHI : Actual and Problems of Land Tenancy

### 1. はじめに

貸借による農地流動化を促進することは中核農業者育成の基本であり、今後も地道な積上げが必要な政策課題である。本報は、長崎県における農地流動化を農用地利用増進事業の「利用権設定」を主体として、農地関係資料と現地調査により、その実態と政策展開上の課題を明らかにしようとしたものである。

### 2. 長崎県における農地流動化

「農地移動実態調査」によると、農地移動のうち「自作地有償所有権移転（農地法第3条）」は、1966年831ha/年をピークに漸減している。一方、1975年から開始された「利用権設定（農用地利用増進法）」は、'82年、934ha/年に達したが、その後は減少傾向にある。

1984年6月現在、県内の利用権設定面積は2,766ha、農用地面積の4%に達したが、市町村間、農業地域間の格差が大きい。利用権設定のタイプ分けについて、耕作放棄面積率（'80年農林センサス）と利用権設定率の関係でみると、経営形態等によって4つに大別できる。Ⅰ型は果樹・野菜等の集約園芸地帯、Ⅱ型は相対的に耕地条件に恵まれた水田・畜産・タバコ地帯、Ⅲ型は水田・畜産地帯、Ⅳ型は圃場条件が劣悪な離島、および農地の資産的保有意識の強い都市近郊地帯であるが、農地流動化はⅠ、Ⅳが閉塞的、Ⅱ、Ⅲで若干の展開がみられる。利用権設定率は、農業委員会等の取組みに左右されるところが大きい。基本的には基幹作目の経営的性格、圃場条件、非農業への就業機会と安定性等に規定されている。

### 3. 南串山町における農地流動化

南高来郡南串山町の農地流動化は、畑作地帯でありながら国の政策誘導以前から主体的な取組みがみられた。1975～'82年の規模拡大に寄与する農地の権利移動は60.3ha（耕地面積の8.4%）、このうち、利用権設定面積は40.1haで、近年における権利移動の主流をなしている。しかし、この利用権設定はかなり早い時期に事実上の貸借関係が成立していたものを追認したことが多い。

貸借農地の供給構造は、1.0haを基軸として、1.0ha未満の階層が「貸出し超過」、1.0ha以上では「借受け超過」となっており、各々、規模の縮小・拡大がみられる。貸し手は「労力不足」「経営縮小」等の事由から農地を貸し出しており、兼業の深化・安定化によるものが多い。借り手は1.0～1.5ha未満の階層に集中しており、労働力が豊富で、規模拡大意欲のおう盛なあとつぎ専従・農業専門的農家群である。

本地域の農地貸借活動は意欲的な担い手の存在とともに、基幹作目のバレイシヨによる単品・集約的土地利用が要因となっている。バレイシヨ収益性が相対的に有利なことから、畑では春・秋の連続作が、水田では水稲前作が一般化している。このような土地利用が借地とバレイシヨの規模拡大を促進している。しかし、バレイシヨに偏重した土地利用は連作障害を深刻化させ、一方、バレイシヨ収益性の低迷と相まって、借地・規模拡大に一層拍車をかけている。

貸借関係は借り手の能動的な借地活動によって成立するものより、貸し手の、人間関係を基礎とした耕作依頼によるものが多い。つまり、貸し手は労力不足等の事情から、親戚、知・友人等を介して、日常の人間関係、信頼関係をもとに借り手に耕作を依頼するのである。この場合、貸借双方の農家が居住する集落内から話合いが進められ、貸借関係の大半が集落内で成立する。これは、農家の人間関係が集落を基礎とし、底流に集落帰属意識が働いていることによる。

貸借関係成立の大きな要因となる耕地の貸付け条件は、「農地は何時でも返してくれる」、「農地を荒さない」ことである。特に、あとつぎ兼業の貸し手は前者を、世帯主兼業では後者を重視している。あとつぎ兼業の場合、就農時の円滑な返戻を懸念する傾向が強い。なお、耕地の貸付け条件は、借り手の希望する耕作の利便性・長期性とは相反するものであるが、借り手の信頼性を計る重要な尺度になっている。つまり、限られた耕地環境の下における農地の貸借は借り手より貸し手の意向に左右されるのである。

### 4. おわりに

貸借による農地流動を促進するには、農業者の集落帰属意識を基盤にした集落の農地管理機能を強化することが重要である。しかし、作目の経営的性格等によっては広域的な農地情報の提供、貸借の仲介機能を有する組織体がより必要である。また、現在の利用権設定の多くは地縁・血縁の信頼関係による個別分散的な土地利用になっている。集団的・合理的土地利用のためには、集落を含む公的仲介機関の保証による新たな信頼関係を築く必要がある、このための合意形成が今後の課題である。